

エンパワメントと レジリアンスの技法

～生きる力の人権～

YURI
MORITA



講師

森田ゆり

2022 2月20日

日曜日 9:30～16:00

会場: 新潟市総合福祉会館4階 401～404

参加費: 5000円

定員: 先着50人(会場の定員の半分/申し込み順)

CAP・にいがたは今年設立25周年をむかえ、県内の約17万人の子ども・おとなにCAPを届けてきました。CAPとは Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子どもがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るため、安心・自信・自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、全ての子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。

CAPプログラムの基本となる考えはエンパワメントに依拠しています。今回、1985年CAPを日本に紹介し、その後トレーナーとしてCAPスペシャリストを養成してきた森田ゆりさんから、コロナ禍の今だからこそ“不安を勇気に変える”ために「エンパワメントとレジリアンスの技法」を学びましょう。

主催

NPO法人子ども・人権ネット CAP・にいがた



森田ゆり 作家 / エンパワメント・センター主宰

講師プロフィール

元カリフォルニア大学主任研究員。元立命館大学客員教授。米国と日本で、多様性、虐待・DV防止専門職の研修とプログラム開発に39年携わる。現在もダイバーシティ、性暴力、DV、ヨーガと瞑想マインドフルネスなどをテーマに全国で研修活動をしている。虐待からの親の回復プログラム「MY TREEペアレンツ」、性加害をしたユースの回復プログラム「MY TREEジュニア」、ヒーリング・ヨーガと瞑想の ALOHA KIDS YOGA等を開発し、実践者を養成している。

第57回保健文化賞、産経児童出版文化賞、朝日ジャーナル・ノンフィクション大賞、アメリカン・ヨーガ・アライアンス賞など受賞。『子どもと暴力』など著書多数。

講座内容

エンパワメントとレジリエンスは不可分に結びついた概念です。どのようにそれが交差しているかを図解します。さらにその土台にある「人権」を心のレベルで理解する実践的人権論を学び、支援のツールとして使うノウハウを映像や事例を見ながら学びます。

必須テキスト3冊

1 「ドメスティック・バイオレンス: 愛が暴力に変わるとき」

森田ゆり著 小学館文庫 657円+税(723円)*2019年版

2 「虐待・親にもケアを」

森田ゆり編著 築地書館 2,400円+税(2,640円)

3 「トラウマと共に生きる」

森田ゆり編著 築地書館 2,400円+税(2,640円)

※テキストは当日会場でも販売します。代金をお釣りのないよう封筒に入れお持ちください。

●日時: 2022年2月20日(日) 9:30~16:00 ●会場: 新潟市総合福祉会館4階 401~404 ●参加費: 5,000円

申し込み・問い合わせ

NPO法人子ども・人権ネット **CAP・にいがた**

951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 2-18

TEL/FAX 025-265-1617 www.cap-niigata.net



申し込み方法: メールか FAXで(お名前、連絡先、所属をお書きください)

E-mail cap.n@violin.ocn.ne.jp

FAX

お名前	
連絡先	
所属(普段の活動)	

参加費: 振込先

特定非営利活動法人子ども・人権ネット
郵便局 記号 11210 番号 138291

当日現金でお持ちの方は、お釣りのないよう封筒に入れ、お名前を書いて受付にお出してください。

●感染対策

1. 会場では安全対策に努めます

- 密集密接を防ぐために、十分な広さの会場を確保し、定員制限をします。
- 密閉を防ぐために、定期的に換気をします
- 消毒液、除菌シートを配備します。
- ご自身で体温を計測してからご来場ください。会場入り口で体調と検温結果を確認します。
未計測の方は体温計をご用意しますので検温してください。
- 入室前に手洗い・手指消毒をしてください。まめに手洗い・手指消毒をお願いします。
- 床に直接お荷物を置かないようにしてください。荷物置き台やコート掛けを用意します。
- いつでも身体的距離の確保をお願いします。
- 会場内では不織布マスクの着用をお願いします。
- 飲食中の会話はお控えください。

2. 会場にお越しになる際は、感染予防のための対策を各自で行ってください。

3. 体調に心配のある方、体調不良の場合は、お休みください。

以上よろしくお願いたします。CAP・にいがた

もうひとつお知らせ

2月19日(土) 子どもまんなか 円卓会議

コロナ禍の子どもの現状と課題を子どもに関わる各分野の専門家が話し合います。

会議パネラー

教育、医療、福祉、民間
その他子どもに関わる
専門家

関心のある方は CAP・にいがたに
お問い合わせください。